

令和6年度 第3回 野々市市子ども・子育て会議
会議録（要旨）

日 時：令和7年2月18日（水）

午後7時～

場 所：市役所2階201会議室

1 出席委員 全体会議 14人（欠席4人）

2 配布資料

資料1 野々市市こども計画（案）

資料2 令和6・7年度 市内保育園・認定こども園・幼稚園定員
令和6年度市内保育園・認定こども園・幼稚園 利用児童数

資料3 令和7年度4月当初の児童利用者の見込み数について

資料4 令和6年度野々市市の児童虐待等の状況について

3 会議録

◎ 全体会議

1 開会

会議の成立を報告

2 課長挨拶

子育て支援課長挨拶

3 議事

1. 野々市市こども計画（案）について

説明【事務局】 資料1に基づき説明

説明【事務局】 野々市市こども計画（案）について委員から事前にいただいた意見の回答
【意見】

資料1 13～20頁のアンケート調査結果を踏まえ、支援を必要とする家庭に支援が届くような相談支援体制を構築する取組が必要ではないか。

【回答】事務局

資料1 28～29頁の重点施策で来年度にこども家庭センターを設置し、相談支援体制を充実させ、必要とする家庭に必要な支援が届くように取り組む。

【意見】

資料1 23 頁からの第3章 計画の基本的な考え方について、24、25 頁の基本目標にこども・若者の意見の尊重という視点が少し弱いのではないかと。

【回答】事務局

こども基本法においては、こども・若者・子育て当事者の意見を反映するとあるので、国においてもこども・若者の政策反映に向けたガイドラインが策定されており、国のガイドラインに沿って基本目標に盛り込んでいきたいと考えている。

【意見】

資料1 45 頁の事業内容⑤放課後児童クラブについて、十分な人員配置について記載してはどうか。

【回答】事務局

放課後児童クラブ指導員の雇用については、各クラブの事情もあるので、質の高い児童育成が図られるよう研修等を通じて、指導員の指導力強化していく内容を追加する。

【委員】

第1期子ども・子育て支援事業計画から委員として関わってきた立場から、こども計画案を読ませていただき、思うことを少し述べさせていただく。

第1章から6章まで短期間での策定は本当に大変だったかと思う。第1章、2章とこの計画案が出てくるまでのとても大事な基礎になる部分を、とにかく丁寧に仕上げてくださっていると思った。

私も関わってきた、第1、2期の子ども・子育て支援事業計画の実績評価等もしっかり入っており、今回新しく加わった若者の意見反映、市民意識調査全体を全て重ね合わせ、関係する市の施策もしっかり盛り込んでくださっていると思う。第1章、2章を読めばこれからやらなければいけないことが見えてくるようにまとめられていると思う。

第3章、4章と計画の骨になる部分が丁寧に記載されており、基本目標4「若者が社会の一員として自分らしく成長する環境づくり」は新しい分野となるが、しっかりと記載されていると思った。

第5章は第1期、2期計画から続けてきた子ども・子育て支援事業計画をこの「こども計画」に組み込んでくださっており、「こども計画」の実現に向け、施策を進めていくことが見えて良いと思った。

第6章は第1章～5章までをまとめていく大事な部分ということで、目標などを掲げてあり、今後、5年間の良い指標になるものだったと思った。

今後、この計画がどのように市民の皆様に伝わって、この計画内容が必要な方に伝わり、必要な支援が行き届くことが大事なので、市民の皆様への伝わり方が気になる。

例えば、カラー印刷にさせていただくとか、「こども計画」の概要版といったものも作成できれば市民の皆様が手にしやすくなり、伝わりやすくなるのではないかと。

1点目ですが、こども家庭センターは総合支援と様々なものが一緒になり、スタートするという事なので、もう少し説明いただければと思う。

もう1点は、プレコンセプションケアで男性がどのようにプレコンセプションケアに関わるのか、少し心配なこともあり、細かいことですが、ご説明いただければと思う。

説明【事務局】

最初にこども家庭センターについては、現在、中央保育園を改修し、整備をしており、（仮称）のいち子育てステーションの中に開設をする予定となっている。

市の組織的なものは現在、調整中だが、内容といたしましては妊娠期から子育て期に対して切れ目のない支援を行っていくというような相談・支援窓口となる。

もう1点のプレコンセプションケアの取り組みについては、男性の関りというご質問であったかと思うが、現状、申し上げるような取り組みはないが、啓発等が主になってくるかと思っている。

《その他 質疑なし》

【池田会長】

それでは、野々市市こども計画案につきまして、今後大きく変更がない場合は、前回及び今回の意見を踏まえ、当会議において承認したいと思うが、いかがか。

《承認》

それでは、野々市市こども計画につきまして、承認されたので、当会議から野々市市こども計画の策定について、私と事務局で調整し、栗市長に対し、答申したいと思う。

4 報告

1. 野々市市内保育園等の入園申請の状況及び定員について

説明【事務局】 資料2に基づき説明

《質疑なし》

2. 放課後児童クラブについて

説明【事務局】 資料3に基づき説明

《質疑なし》

3. 児童虐待の状況について

説明【事務局】 資料4に基づき説明

【委員】

各種会議の中で、必要に応じた個別支援会議というのを、実施しているようだが、何か具体的に私どももお聞きして差支えがないような内容を教えていただけないか。

説明【事務局】

個別支援会議とは様々な相談のケースがあったときに学校であるとか、その他関係機関がその時のケースに応じて集まり、その個別の案件に対し、それぞれの現状を話し合いな

がら、今後どのような対応していくかということを相談する場であり、必要に応じて開催している。

【委員】

その会議のメンバーはどのような方たちで構成されているのか。

説明【事務局】

学校、児童相談所等のほか、市の職員も参加しており、その時々相談により構成は異なる。

【委員】

年に何回ぐらいの開催か。

説明【事務局】

今年の1月末時点で35回開催している。

【委員】

要対協の関係の方もいらっしゃるのか。

説明【事務局】

市の要対協担当職員2名はその場に参加いる。

4. (仮称) ののいち子育てステーションについて

説明【事務局】 (仮称) ののいち子育てステーションについて説明

- ・これまで(仮称) ののいち子育てステーションとしていましたが、仮称を取りまして、正式名称としたいと考えている。
- ・ののいち子育てステーション設置に必要な事項を定めるための条例は令和7年3月議会定例会に上程予定となっている。
- ・ののいち子育てステーションの開設は当初予定の4月から遅れる見通しとなっている。
- ・子育て支援センター菅原の名称は菅原からの移転に伴い、子育て支援センターみってという名称にする予定。このみってという名称は中央、真ん中といったことを意味するドイツのMitte(ミッテ)をひらがなで表記するもので、こども真ん中社会の実現に向け、中央保育園と一体となって、こどもや子育て家庭をサポートしていきたいという、支援センターの思いを名前に込めたもの。言い易さ、覚えやすさ、響きの可愛らしさなどといったことからそのように名付けたいと考えている。

《質疑なし》

5. 富奥保育園大規模改修について

説明【事務局】 富奥保育園大規模改修について説明

- ・富奥保育園大規模改修については、前回会議でも少し触れましたが、改修予算を含む令和7年度一般会計予算について、令和7年3月議会定例会に上程する予定。

- ・工事の着工については、議会の議決が必要な契約金額となるので、令和7年6月議会で議決をいただいた後、7月頃の着工を予定している。
- ・工事は富奥保育園舎を幾つかのブロックに分けて移動しながら、安全に最大限の配慮をし、工事を進めたいと考えている。
- ・来年度は、御経塚保育園大規模改修の実施設計を行う予定。

《質疑なし》

5 閉会